

町民のみなさんと歩む 木古内町

議会だより

vol.149

令和2年2月1日発行

●発行／木古内町議会
●編集／議会だより編集特別委員会
〒049-0422北海道虻田郡木古内町字本町218
TEL.01392-2-3131 FAX.2-3622

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

ちょうちん片手に、行列参加 ～みそぎ行列～

contents

定例会 ————— P2

4議員が町政を問う ————— P4

特集1 まちの将来を考える 議会懇談会 ————— P9

特集2 私たちの思いを行政に 中学生議会 ————— P10

常任委員会報告 ————— P14

お知らせ ニュース&インフォメーション ————— P15

町民インタビュー ————— P16



4月から施設利用料等改定

採決の結果 5対4で原案可決

一般質問
4議員より

可決された 主な議決事項

- 議案第1号 平成31年度木古内町一般会計補正予算(第9号)
- 議案第2号 平成31年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 議案第3号 平成31年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 議案第4号 平成31年度木古内町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第5号 平成31年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第6号 平成31年度木古内町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 議案第7号 木古内町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について
- 議案第8号 議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する支給条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第9号 職員給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第10号 木古内町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第11号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第12号 消費税及び地方消費税の改定に伴う関係条例の整備について
- 議案第13号 木古内町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- 選挙第1号 木古内町選挙管理委員の選定

令和元年12月定例会は、12月12日に開催され、平成31年度一般会計のほか5会計の補正予算、条例の制定・一部改正等の議案7件を可決しました。

主な補正内容については、人事院勧告(※1)に伴う給与・勤奨手当の引き上げ等です。

選挙第1号では、選挙管理委員会委員及び同補充員が当選いたしました。

一般質問は、廣瀬議員、竹田議員、平野議員、新井田議員の4名から出され活発な議論が交わされました。

(詳細4ページ)

また、議案第12号「消費税及び地方消費税の改定に伴う関係条例制定について」では、ゴミ処理手数料、公営住宅の駐車場使用料、野球場及びテニスコートの夜間照明手数料について、消費税の増税に伴い増額し、パークゴルフ場の使用料については、利用促進等を考慮し、当面の間据え

置きするという提案がされ、内容について議論し、採決の結果、5対4で原案が可決されておりあります。

平野議員 今の時代に合った料金設定とは何なのか。電気代が上がっているから高くするのか。あるいは利用促進のために安くするという二案があると思いますが。

大野副町長 電気料金は、実費弁償的に納めていただいている。これについての考え方は変わってはおりませんが、パークゴルフ場や広告掲載料等についても、

竹田議員 国から10%にするよう指導があったようだが、ペナルティ等はあるのか。

大野副町長 国がペナルティを科すというこ

とについては、特に通知はきておりません。

平野議員 各施設の使用料を算出した根拠は、吉田生涯学習課長 受益者負担的な考え方で、おそらく当時の電気代から算出したと思えます。

(※1) 人事院勧告…国家公務員の一般職員の「給与その他の勤務条件の改善及び人事行政の改善に関する勧告」の総称。

利用促進という考え方を
持ちながら、改正を
した上で現行どおりの
扱いというような考え
方を持っておりませ

討 論

【反対討論】

平野議員 料金改定を
提案する際、利用促進
も含めた説明があつて
はじめて改定案が提出
されるべきだと思いま
す。消費税の改定があ
り、それに対して、料
金改定をしなければな
らないという考えにつ
いては理解しますが、
この料金の定価・定額
についての設定金額の
説明については納得で
きませんので、反対討
論といたします。

【賛成討論】

吉田議員 今まで行政
が、3%・5%をその
ままにしていたのは問
題ですが、消費税増税

に伴う使用料等を10%
にするということなの
で、賛成いたします。

議案12号に対する採決の状況

	賛成	反対
平野		○
手塚		○
鈴木	○	
吉田	○	
安齋	○	
新井	○	
相澤	○	
廣瀬		○
竹田		○

令和2年4月1日 ゴミ処理手数料の 料金改定

- 一般廃棄物処理手数料
- 燃やせるゴミ
 - 20kg 21円→22円
 - 45kg 47円→49円
- 燃えないゴミ、空き
ビン、ペットボトル、
空きカン、その他プラ
30kg 31円→33円
- 処理券(資源ゴミ・
粗大ゴミ)
 - 10kg 31円→33円

意 見 書

各関係大臣へ

意見書2件を提出

意見書案の審議では、
2件を原案のとおり可
決し、内閣総理大臣の
ほか関係大臣等に提出
しました。

- 日米共同訓練の規模
縮小とオスプレイ参加
の中止を求める意見書
- 提出者 手塚議員
- 賛成者 鈴木議員
- 賛成者 吉田議員

選 挙

木古内町選挙管理委
員会委員及び補充員の
選挙が行われました。

当選された委員及び補
充員は、左記のとおり
です。

- 木古内町選挙管理委員
会委員
- ・小泉 五郎(木古内)
 - ・北野 友子(前浜)
 - ・渥美 徹(本町)
 - ・新家 悦子(本町)

発 議 案

議会閉会中の所管事 務調査項目の承認

議会閉会中の総務・
経済常任委員会所管事
務調査項目を承認しま
した。

【保健福祉課】

- ・小規模多機能型居宅
介護施設整備について
- その他緊急を要する
課題について

第 5 回 会 臨 時 会 10月21日開催

可決された 主な議決事項

- 議案第1号
平成31年度木古内町一般
会計補正予算(第8号)
- 議案第2号
動産(物品)の取得につ
いて

質 疑

令和元年第5回臨時
会は、10月21日に開催
され、平成31年度一般
会計補正予算、動産の
取得の議案2件につい
て、可決しました。

新井田議員 引取者の
いない死亡というのは
非常に残念であります。
身寄りのない独居老人
の人数は把握されてい
るのでしょうか。

吉田町民課長 町民課
としては、把握してお
りませぬ。

新井田議員 今回のよ
うなケースは、今後、
増えると推測されます。
行政指導のもと、独居
老人の身寄り等の把握
は必要ではないか。
大野副町長 完全に情
報を掌握するのは難し
いので、町内会等に要
請してまいります。



一般質問

4名の議員が

町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



廣瀬 雅一 議員

① 木古内町における人口対策について

竹田 努 議員

① 教育施設の管理運営について

平野 武志 議員

① 町政懇談会の検証と今後のあり方について
② 児童生徒の学力向上に取り組む施策について

新井田昭男 議員

① 木古内町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について



廣瀬 雅一 議員
Hirose Masakazu

問 これからの人口対策とビジョンは

答 当町の特性を分析し、人口減少対策を推進します —— 町長

**これまでとこれから
の人口対策は**

木 古内町におけるこれまでと、これからの人口対策について町長に伺います。

平成12年の人口は、6,839人、2,744世帯で、令和元年10月末人口は、4,083人、2,176世帯であり、人口は2,756人減少しています。

この20年間で的人口対策について、また、これからの人口対策とビジョンについて伺います。

大森町長 当町の人口対策については、最上位計画である木古内町振興計画に基づいて事業を進めております。

平成12年の就任からおよそ10年間は三位一体改革による地方交付税の削減により、自治体財政はひどく疲弊した時期でありました。

永続的な自治体運営のため、特別職はもとより、議員報酬や職員の給与独自削減にも取り組まなければならず、水道料金の値上げなど、町民負担も求めてまいりました。この期間は、継続的な事業を除き、人口減少対策に特化した施策の展開は、大変難しかったと考えております。

財政が安定しはじめた後半の10年間は、施策の拡充や展開に努めてまいりましたが、人口減少の大きな波を食い止めるまでの効果とはなっておりません。

しかし、ここ数年間、社会減は徐々に収束しており、効果が表れている事業もあります。この中で、当町の特性を分析しつつ、効果のある事業を展開し、住みたい町の未来像を創っていくため、引き続き人口減少対策を推進してまいります。

再質問 子育てや環境整備に関して様々な施策を行っており、町民にとっては大変ありがたいことと思っております。

しかし、人口流出の歯止めの施策であり、強力な人口対策については、確認できません。そこで、今までの検証・対策はどうだったのか。また、今後どうあるべきなのか。

大森町長 人口減少の問題につきましては、日本列島全ての問題だと捉えております。減少のスピードをどれだけ緩めることができるか、様々な対策を通して目標に進んでいるところですので。

再質問 これからの人口対策ですが、この人口問題に特化したプロジェクトチームの創生はいかがか。近隣町村と比べると非常に恵まれた交通環境と立地条件が整っていると思

ます。なぜ電力会社は、なぜ食品加工会社は、なぜ刑務所は、この町を選ばなかったのか。その多数の諸問題を検証に検証を重ね、将来の対策・計画が必要だと思いますがいかがでしょうか。

大森町長 過去を検証して、これからのように町が進んでいくのか、しっかりと計画していくのは大事なことだと思えます。

現在は、課をまたいで様々な検討をしております、様々な事業を通して、しっかりとした人口減少問題に取り組んでいきます。

また、人口ビジョンの改定に着手しておりますので、当町の特性を活かした人口減少対策に取り組んでいきたいと考えております。



竹田 努 議員
Takeda Tsutomu

問 教育施設の指定管理者制度や民間委託の検討は

答 現時点で指定管理者制度等は考えていない —— 教育長

公共施設等総合管理計画との整合性と交流人口増加対策は

人 口減少、高齢化比率の上昇に歯止めがかからない現状において、町としては様々な施策を展開しております。

平成26年度にはいち早く人口減少対策の検討に着手し、平成29年度からは定住促進のための空き家リフォーム事業等の取り組みを進め、その成果を期待するところでありますが、今後における大きなテーマは行財政改革であろうと思います。

以上のことから、公共施設等総合管理計画との整合性や、交流人口増加の観点から、下記施設について指定管理者制度や民間委託を検討すべきと考えますが、教育長の見解を伺います。

質問1 パークゴルフ

場の利用促進や交流人口の増加という観点から、改革が必要だろうと思います。

教育長 公共施設の総合管理計画は、施設のハード面についての計画であると認識しております。

指定管理者制度等の検討については、効果的かつ経済的に実施できるか。また、他の施設や業務も含め、町全体で協議が必要と考えておりますので、教育委員会として、単独での検討は考えておりません。

次に、利用促進については、毎年無料開放デーを実施しているほか、今年度からパークゴルフ協会の協力をいただき、初心者講習や大会を開催し、利用者の拡大に努めております。

今後も、パークゴルフ協会の協力を得ながら利用促進に努めたい

と考えています。

再質問 西部3町の実態を把握しているのか。また、民間委託を含めた検討はできないのか。

教育長 西部3町の実態については、これから調査研究してみます。

民間委託等については、パークゴルフ場のみでの検討とはならないと考えています。

質問2 給食センターですが、もう5年余り正職員が不在のまま、非常勤職員での運営がされており、そろそろ指定管理を含めた民営の力を得るべきではないか。

教育長 今年度を初年度とする向こう5カ年の第7次木古内町教育総合推進中期計画において、直営という基本方針は現在も変わっておりません。

当町では、食中毒の予防をするため、職員の検便回数を増やすなど、調理場の衛生管理

の徹底に努めております。また、アレルギーは人命に関わることであり、特段の配慮が必要であることから、個別のアレルギー対応を実施しています。

教育委員会としては、これからも衛生管理の徹底やきめ細かな対応ができる直営での運営により、安全で安心なおいしい給食の提供を続けてまいります。

再質問 昔から見ると児童生徒数が相当数減少しています。調理員は当時から5名だったと思いますが、人数が減少しても5名必要かどうかという根拠はあるのか。

教育長 給食センターの配置人数は、ドライ方式の基準に準拠しており、児童生徒数101名から200名は5人となっています。これはアレルギー対応も含めた基準となっております。



平野 武志 議員

Hirano Takeshi

問 タブレットの導入を早急に実施すべきと考えるが

答 補助財源を確保した上で整備したい —— 教育長

町政懇談会の検証と今後のあり方は

今 年度の町政懇談会を振り返ると、各

町内会が事前に取りまとめた要望に対し、現状の取り組みや今後の対応について答弁しています。また、町民の真摯な切望に対し、不親切な答弁もあったと感じています。

参加する方や発言者も少なく、自主的に参加している人の数は限られているのが実態です。

次年度以降の手法を工夫し、新しい形式の懇談会に変えていくべきだと思いますが、町長の見解を伺います。

大森町長 懇談会当日の要望等については、限られた時間と資料での回答となりますので、丁寧ではない回答と受け止められるかもしれませんが、これまで、町内会を

細分化するなど、いくつかの工夫をしてみました。思うような結果となっていないのが現状です。地域の声をしっかりと受け止め、町政に反映していくためにも、新しい形態を含めて、次年度以降に向け検討したいと考えています。

再質問 近年の参加人数はどのくらいか。

木村まちづくり新幹線課長 平成29年度は54人、平成30年度は54人、今年度は46人となっております。

意見 参加人数に大きな減少はないが、時間と質問の数が大きく減少しています。他の自治体では、町長自ら膝を交えて意見交換をする取り組みも行われているので、今後、町民の声を吸い上げられるような懇談会にしたいと思っています。

児童生徒の学力向上に取り組む施策は

児 童生徒の学力向上に取り組む施策について教育長に伺います。

質問1 第7次木古内町教育推進中期計画の中に「確かな学力の向上」とありますが、学校と協同し新たに取り組んでいる具体例をご教示ください。

また、全国学力テストの我が町の結果検証と目標数値を定めているのか伺います。

教育長 小学校においては、教科指導におけるプログラミング教育の実施が求められており、推進教師による研究授業や講師を招いた研修会を開催するなど学力向上の具体的な施策を実施しています。全国学力学習状況調査については、小中学校とともに各教科において、改善を要する領

域がわかりました。

また、目標数値については定めておりませんが、我が町の働き方改革（学校現場）の現状と課題についてお知らせください。

質問2 我が町の働き方改革（学校現場）の現状と課題についてお知らせください。

教育長 学校における働き方改革アクション・プランを策定し、4つの実践項目を掲げ取り組んでおります。

質問3 タブレットの導入について、既に導入済みの自治体が多々あるなか、国では、一人一台のパソコン導入の計画も検討されており、早急に設置すべきと考えるが。

教育長 5年前に小中学校のパソコンを更新しており、当時、学校も含め、タブレット導入も検討しましたが、パソコンで更新しております。

タブレットの導入については、補助財源を確保した上で、整備したいと考えております。



新井田昭男 議員 Niida Akio

問 我が町の人口推移と現状を見据えた今後の施策展開は

答 減少率が緩和される総合戦略の策定を行います ——— 町長

地方創生における我が町の取り組みは

地 方創生とは、地方の人口減少の克服と地域経済の活性化を目指す政策で、2014年に民間シンクタンク

の日本創生会議が「全国の市区町村の5割が将来消滅する可能性がある」との試算を発表し、危機感が強まったことに対応した政策です。

木古内町は、2015年に国の指示の中「木古内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に関する効果的な施策を企画立案し、対策を講じて参りました。対象期間である5年目を迎え、我が町の「総合戦略」並びに「人口ビジョン」について町長に伺います。

質問1 基本方針では4つの政策分野を掲げ、人口減少を克服し、町の創生を実現するために様々な施策を講じております。

そこで、次の基本目標の内容についてお尋ねいたします。

①総合戦略における各目標展開でのKPI（※1）の達成状況について（※質問した目標と達成状況については左記に記載）

総合戦略における目標	目標数値	達成状況
イ. 雇用機会の創出		
新たな雇用者の増加	60人	38人
新規企業の増加	5件	5件
ロ. 新しい人の流れを創造		
移住定住世帯の増加	50件	6件
転出超過率の減少	△11人	△30人
ハ. 元気で活力ある地域の希望をかなえる		
合計特殊出生率	1.4	公表数値なし
婚姻件数の増加	15組	13組

再質問 移住定住世帯の増加や転出超過の減少について、目標数値に対して、達成状況が低くなっているが要因は

木村まちづくり新幹線

課長 それぞれの目標について、事業を行った結果として計画策定時よりも良好しているというものです。したがって、直接的な要因が一つということはありません。

質問2 総合戦略の人口推移について、「木古内町人口ビジョン」は、多方面による分析と施策案を提案していますが、総合戦略の5年間にわたる、我が町の人口推移と現状を見据えた今後の施策展開について伺います。

大森町長 現在の人口

ビジョンでは、平成32年度における人口は、4,237人を展望しておりますが、令和元年10月末時点で、4,083人と、154人

3.6ポイントの減少となっております。

人口の展望に対する結果については、真摯に受け止め、総合戦略策定推進委員会の評価検証、分析も踏まえ、人口ビジョンを改定するとともに、極力減少率が緩和される第2期総合戦略の策定を行ってまいります。

再質問 平成12年に町長に就任した際、人口は7千人です。それから減っているのが2,700人。5年間いろいろな施策を打っているが、実態として現れていない。

木村まちづくり新幹線

課長 今年度人口ビジョンを改定するというところで、コンサルタントにアドバイスをいただき、年度末までに進めます。

（※1）KPI…Key Performance Indicator（重要業績評価指標）組織の目標を達成するための重要な指標

特集 1

議会懇談会

まちの将来を考える

森林組合・町内会連合協議会と懇談会を開催



町内会連合協議会との議会懇談会の様子

議会が住民に信頼され民主的まちづくりを実現し、効率的な行政運営を図るためには議会と町民との連携が重要です。昨年12月20日には森林組合・町内会連合協議会と議会懇談会を開催し、貴重な意見をたくさんいただきました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。

議会が住民に信頼され民主的まちづくりを実現し、効率的な行政運営を図るためには議会と町民との連携が重要です。昨年12月20日には森林組合・町内会連合協議会と議会懇談会を開催し、貴重な意見をたくさんいただきました。今後の議会活動の参考とさせていただきます。

森林組合

間伐や皆伐の際に私有地があり、そこを迂回して作業をすることにより、経費がかかると思いますが、私有地

について、どの程度把握しているのか。

・所有者不明森林については、現在、函館広域森林整備推進協議会を設立し、検討しております。

木古内町に関して、所有者不明森林は540件前後あり、順次、確認作業を行っております。

町内会連合協議会

町内会や自治会の活動をする上で、現状の課題として、具体的にどのようなものがありますか。

・ 独居老人が、突然不在となるケースが多くあります。行政では、情報を持つているが、個人情報保護ということで、教えてくれないことが多いので、情報を共有できないか。

・ 自主防災組織を何とかつくりたい。その意識がかなり低いです。災害から身を守るためには、町内会ごと、若しくは避難所ごとの自主防災組織が必要だと思います。

・ 高齢者の不安を何とかしてほしい。具体的に言うと、高齢者の集まりがあると、認知症防止のゲームや寝たきりにならないよう体操ばかり。木古内に行ったら、楽しく安心して人生を送ることができるといようなことを具体化してほしい。

・ これを機会に参加者全員でバージョンアップしていければと思いますので、来年度以降も開催してほしい。



森林組合との議会懇談会の様子

豊かな故郷の創造に向け 私たちの思いを行政に



中学生が議員となり、町政に関する一般質問を町に対して行う「中学生議会」を11月25日に役場議場で開催しました。

開催の目的は、町政に対する関心や地方自治への参画意識を高め、もたらうことが主なもので、総合的な学習の一環として今回で5回目の開催となります。

今回の開催では、中学3年生25名が議員となり、その中から議長と一般質問者10名を選出し、副町長、教育長が回答する形式で開催されました。一般質問の内容は、質の高い内容であるとともに、まちへの強い思いを感じ

られ、議会としても大変勉強となる事業となりました。

- 【出席議員】22名
- 1番 赤沼 蓮
 - 2番 浅野 聖奈
 - 3番 飯田 光芽
 - 4番 井川 琳加
 - 5番 市戸 航生
 - 6番 井上 太郎

- 7番 大森 千春
- 8番 近藤 光太
- 9番 佐藤 七海
- 10番 澤谷 碧
- 11番 高橋 まどか
- 12番 成澤 梓
- 13番 西山 颯来
- 14番 稗貫 凜
- 15番 福井 孝太郎
- 16番 福嶋 美紗都
- 18番 湊谷 汐音
- 19番 宮西 玲汰
- 22番 山田 創大
- 23番 山名 来実
- 24番 山本 利奈
- 25番 吉田 菜緒

議長の紹介



議長を務めた井川琳加さん。当日は若干緊張ざみでしたが、落ち着いて進行されました。

Q 通学時間帯の除雪活動の工夫を

A 安全な除雪体制を整えます



あずさ 成澤 議員

いた場合、雪山で歩道がふさがれていたり、除雪車が怖くて通行できない場合があるので、工夫できないか。

大野副町長 誘導員を

降雪時は住民の安全・安心のため、迅速な除雪活動をしていただき感謝しております。しかし、通学時間帯に除雪活動が行われて

Q 通学路の街灯が少ないように思うが

A 教育委員会と連携し町内会へ相談します



あかぬま れん 議員

通学路の街灯の整備をお願いします。

大野副町長 街灯につ

木古内町では、通学路の街灯が少ないように思います。秋口から下校時は特に暗く、増設箇所について、町内会等へお願いします。



Q 有効利用するためみそぎ公園の整備を

A イベントスペースで使用するため整備は難しい



いのうえ たろう 議員

については、町民の憩いの場や町の祭り・イベントなどを行うスペースとして使用しており、遊具の設置は難しいと考えています。

みそぎ浜のゴミや汚

れが目立つようになってきていると思います。ポランティアによる清掃活動など対策はどうか。また、みそぎ公園も整備すれば有効利用できるとは思います。具体的には、時計や遊具の設置はどうか。

大野副町長 町では、

毎年4月に全町一斉クリーン作戦を実施しています。そこには観光協会も参加しており、サラキ岬やみそぎ浜駐車場をはじめ、町内の観光名所のゴミ拾いを行っております。「海の日」に合わせた 해변清掃について提案してみそぎ公園の整備に

再質問 みそぎ公園の

自動販売機が撤去されたが、再設置の予定はないのか。

大野副町長 設置事業

者から収益性が薄いと申出があり、やむを得ず撤去しています。

再質問 イベント時の

楽器等の置き場所の確保をお願いしたい。

大野副町長 楽器につ

いては、職員による搬送を行っていると思うが、担当と協議し、置く場所を確保したい。

Q 駅前エリアのWiFiが不安定と感じるが

A 繋がりがやすい場所まで移動し利用願いたい



ふくいこうたろう 議員

一昨年より、木古内駅前エリアでフリーWiFiが始まり、中心地区のネット環境が整備されました。しかし、通信状況に

不安定さを感じる場合があります、安心して使用できるように整備できないか。

大野副町長 町では年間45万円ほど通信費用を負担しています。利用する方には、つながりやすい場所まで移動し、利用していただきたいと思えます。

Q 町に戻ってくる人材をどう確保するのか

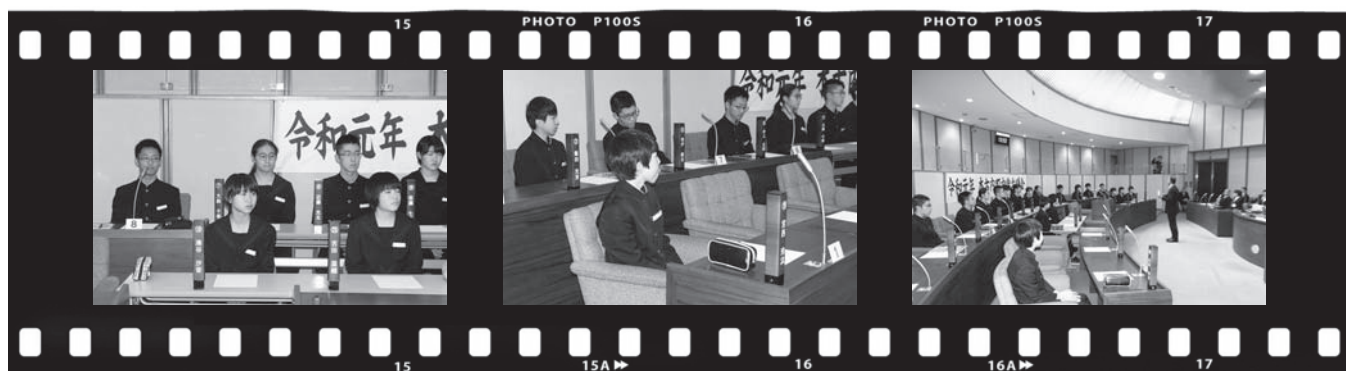
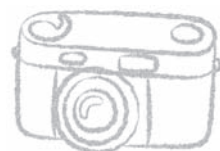
A 様々な施策を実施し人口減少に歯止めを



ひえぬきりん 議員

全国的に少子高齢化が進み、木古内町も減少傾向にあります。就職や進学も町外が多い今、Uターンする人材をどう確保していくのか。

大野副町長 町では、対策として、高校生までの医療費無償化、小中学生の給食費無料化など、子育てがしやすい環境を整えるとともに、一次産業後継者に対して支援を行う制度を創設するなど、様々な施策を実施する中で、人口減少に歯止めをかけるよう努めます。



Q 町おこしのため工夫したSNSの発信を

A SNSを利用し広く世界に発信しています



さわやみどり 議員

木古内町は、更なる町おこしを考えなければならぬと思います。例えば、工夫してSNSを発信したり、新しい食べ物の開発やイ

ベント等、話題性のあるものを取り入れるのも一つだと思います。**大野副町長** 道の駅や町では、インターネットを利用し、広く世界に発信しています。皆さんにおかれましても、SNSを利用され、若い世代の感性で、町の魅力を世界に発信いただくようお願いいたします。

Q 観光客向けの看板が少ないのでは

A 駅前周辺に18枚の看板を設置しています



やまなくるみ 議員

木古内町には、観光客向けの看板が少ないと思います。例えば、駅周辺に観光スポットの魅力や行き方、非常時の避難場所など、色々なポイントに案内

板があれば、散策したり、買い物したりすると思うが。**大野副町長** 新幹線北口からみそぎ浜まで18枚の看板を設置し、看板には3カ国語の表記を行っています。避難場所を示した看板は、少ないと感じていますので、既存の看板に追記し対応します。

Q 学びの機会均等の学習が保障されるように

A ICT環境の設備充実に取り組みます



近藤 光太 議員

中学校にはコンピューター教室はあるものの、情報技術の進捗からすると古く、ICT環境の整備が遅れていると思います。学びの機会

均等の学習が保障されるようにしてほしい。

野村教育長 第7次木古内町教育総合推進中期計画において、ICT環境の設備充実の取り組みを進めるとしてまいりますので、来年度以降、予算を確保の上、タブレット端末を導入するなど、環境を整えたいと考えています。

Q わたり廊下に雪が侵入し溶けると危険です

A わたり廊下の雪の侵入箇所を補修します



佐藤 七海 議員

中学校のわたり廊下は、冬季に雪が浸入し、溶けた雪で廊下が滑って危険です。また、以前から体育館の雨漏りも改善されず、過去に滑ってケガをした生徒

もいることから、教育長の見解を伺います。

野村教育長 わたり廊下については、雪の浸入箇所が判明したので補修します。体育館の雨漏りについては、風が伴った場合に限られており、小規模な改修で雨漏りの解消は困難な状況で、大規模改修については、町長部局と協議を進めます。



Q グラウンドに照明の設置を

A 校舎内や鷹取球場を使用するなど工夫を



飯田 光芽 議員

グラウンドに照明設備がないため、不便を感じております。

また、散水栓はあるものの使用できない状況なので、整備をしていただくことはできないか。

野村教育長 グラウンドの照明設置は、必要性が低いと認識しておりますので、整備は考えておりません。日が暮れるのが早くなる時期の部活動については、校舎内あるいは鷹取球場を使用するなど、工夫した計画を立てて、部活動の練習に取り組んでいただくようお願いいたします。



また、散水栓は3箇所ありますが、使用できない状況で、使用するためには多額の費用がかかることがわかりました。

したがって、教育委員会としては、費用負担が少なく、簡単に使用できる機能を持った方法を、調査研究したいと考えています。

12月定例会において
「所管事務調査報告」
が行われました。

総務経済常任委員会は
9月定例会以降、所管事
務調査を2回にわたり開
催し、12月定例会におい
て「所管事務調査報告」
が行われました。

調査した所管事務

第5回 10月29日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
・発注工事等の現地調査
について
- 病院事業
・公立病院の再編・統合
について

第6回 11月28日開催
総務・経済常任委員会

- 保健福祉課
・小規模多機能型居宅介
護施設整備について
- まちづくり新幹線課
・道南いさりび鉄道令和
元年度上期決算につい
て
- ・江差線代替輸送運行補
助金について
- 病院事業
・国民健康保険病院事業
会計及び高齢者介護
サービス事業会計の上
半期収支状況について
- 特別養護老人ホーム
いさりび
・外国人介護福祉士候補
者受入事業について
- 建設水道課
・水道事業会計及び下水
道事業特別会計の上
半期収支状況について
- 総務課
・手数料等の見直しにつ
いて

消費税増税に伴う手数料等の見直し

スポーツ施設については協議が必要

「所管事務調査報告」

町民が利用しやすい
施設の建設を

小規模多機能型居宅
介護施設の実施設設計の
内容について2案が示
された。施設の内部配
置や駐車場を含む外構
の提案、非常時の設備
や騒音の心配など多岐
にわたり意見が交わさ
れた。
各意見も踏まえ実施
設計の完成に向け、利
用者や家族が利用しや

すい施設となることを
望む。運営にあたって
は諸課題も多く、今後
も常任委員会の継続調
査とする。

消費税増税に伴う 手数料等の見直し 協議が必要

令和元年12月12日の
第4回定例会に消費税
及び地方消費税の改定
に伴う関係条例の整備
に関する条例制定を上
程するとの報告が、11
月28日の常任委員会に
おいてなされた。

令和元年10月1日の
消費税増税に伴い各種
使用料の料金改定案が
示された。増税に伴う
使用料の改定について
一部理解もするが、各
種スポーツ施設使用料
や広告掲載料について
は我が町が設定してい
る金額であり、増税に
伴う改定には当てはま
らない。
特にスポーツ施設に
ついては、しっかりと
整備を行った上で、各
種大会・合宿誘致を含
め、施設の利用促進に

ついて検討すべきであ
る。

そのことをしっかりと
と協議し、説明した上
での料金改定が望まし
い。

町発注工事等の 現地調査を実施

第5回総務・経済常
任委員会において、町
発注工事等の現地調査
を実施しました。

発注工事の現地調査

(10月29日開催の第5回総務・経済常任委員会)



「薬師山・萩山遊歩道整備工事」現地調査の様子

議員活動に必要な知識を習得

お知らせ

NEWS &
INFORMATION

様々な研修視察 イベントに参加

10.19 東京・木古内会総会 会員と交流を深める



10月19日（土）、町内の石川屋において東京木古内会の総会が開催されました。総会終了後の懇親会においては、昔と今の木古内の違いや思い出話に花が咲き、大いに盛り上がりました。

10.23～25 渡島西部四町議会 議員連絡協議会研修視察へ



10月23日（水）～25日（金）まで渡島西部四町議会議員連絡協議会研修視察へ3名の議員が参加し、岩手県雫石町にある「とらふぐ養殖場」と秋田県秋田市にある障がい者施設を視察してきました。

11.23 北海道自治体学会地域 フォーラムinきこないへ参加



11月23日（土）中央公民館において北海道自治体学会地域フォーラムinきこないが開催され、全議員が参加し、第2期総合戦略の策定の取り組みの考え方などを通じ、地方再生の処方箋についての方策や課題などについて研修しました。

全国町村議会議長会より 「又地信也」議長が表彰



このたび、30年以上の永年勤続議員として又地信也議長が全国町村議会議長会より特別表彰され、12月定例会で竹田副議長より伝達されました。

議員の辞職

令和2年1月22日付で、鈴木慎也議員から辞職願の提出があり、同日付で議長からの許可となり、議員辞職となりましたのでお知らせします。

町民インタビュー

No.12



～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します ～

たかや しげる
高谷 茂さん (69歳)

後志管内羊蹄山の麓にある京極町生まれ。札幌から泉沢に来て2年半。嫁の実家が泉沢にあり、移住しました。
過去の職業は、電機メーカーの販売会社に勤務し、転勤族で営業一筋でした。
高度成長時代は、休むこともできず、夜中の12時を境に今日は早いか遅いかかの仕事で、それでも次の日は朝7時頃に出勤していました。当時は頑張ったなと思います。
「働き方改革」が推奨される今日では、大問題ですね。
現在は、のんびり生活で、冬は趣味の映像編集をして、雪のない時期は、家の裏にある畑で作業するのが日課です。



木古内町議会だより

発行/木古内町議会
編集/議会だより編集特別委員会

— 現在、あなたが置かれている環境は？

仕事が営業だっただけに、一言多い悪い癖（性格？）が抜けず、それが要因かわかりませんが、自治会より情報宣伝副部長を任命され、現場で写真を撮影したり、関係者と直接お会いして話を聞きながら、自治会員に愛される回覧板の作成に心がけています。

この町に来てからは、皆様に優しく接していただき、住み心地が良いことに感謝しております。

— 今後、町や町議会に期待することは？

全国どこの町も悩みは『人口減少』ですね。木古内町も昨年1年間で100人以上も減少しています。働く場所や暮らし方が魅力的でなければ、人は移住してまで住みたいと思わないからです。

時には町民の力を借りることも大事なことだと思います。いわゆる「行政と町民の協働」を推し進めることが地域の【力】そのものだと思います。安心して子どもを産み育てられる町、難しい問題への挑戦ですが、地域創生のための努力と発進力の強化に期待します。

公共施設等に町民の声を気軽に反映すべく「困りごと」「町に提案したいこと」のボックス（ポスト）を設置してはいかがでしょうか。

（インタビューア－：新井田委員）

編集後記

■令和2年初めての創刊となり、創刊のご愛読に対し、町民の皆様に編集委員の一人としてお礼申し上げます。今後、町民の皆様の声を真摯に受け止め、議会活動の内容を「議会だより」を通して報告させていただきます。

■昨年、自然災害に遭われた皆様の一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。幸いにも、我が町には大きな事故、災害もなく比較的、穏やかな年であったと感じております。そして、今年も災害のない穏やかな年であってほしいと願うばかりです。

■7月より、いよいよ東京五輪・パラリンピックで日本中が賑わいます。我が国の多くのアスリートの活躍を含め、大会が成功に終わり、その経済効果の上昇気流にのり、日本全国にその上昇効果があることを大いに期待したいものです。

■終わりに、町民の皆様の益々のご隆盛とご健勝をご祈念申し上げ、編集後記とさせていただきます。

議会だより編集特別委員会
委員 新井田昭男